



JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会  
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害対策本部 (03) 3351-5038 アドレス dsstsw@jaswhs.or.jp



## <目次>

1. 災害支援活動協力員募集と寄付金等のお願い
2. 会議の報告及び今後の会議の予定
3. 石巻・現地情報
4. 仮設住宅における医療福祉相談会の報告
5. 現地支援活動報告
6. 現地・事務所ボランティアの感想文



## 1. 災害支援活動協力員募集と寄付金等のお願い

週末、仮設住宅で相談会を開催しています。

相談会のみ活動も可能ですので、参加をぜひご検討ください。

多くの方のご協力をお待ちしております。

## 11月のボランティアカレンダー

(11月3日現在)

日付	事務所	現地	日付	事務所	現地	日付	事務所	現地
1[Tue]	2	3	11[Fri]	1	2	21[Mon]	1	1
2[Wed]	1	3	12[Sat]	1	3	22[Tue]	○	1
3[Thu]	1	3	13[Sun]	休	3	23[Wed]	1	2
4[Fri]	1	3	14[Mon]	1	2	24[Thu]	1	2
5[Sat]	1	2	15[Tue]	2	1	25[Fri]	1	3
6[Sun]	休	2	16[Wed]	1	1	26[Sat]	1	3
7[Mon]	1	3	17[Thu]	1	2	27[Sun]	休	2
8[Tue]	1	3	18[Fri]	1	2	28[Mon]	1	2
9[Wed]	1	2	19[Sat]	1	2	29[Tue]	2	2
10[Thu]	2	2	20[Sun]	休	2	30[Wed]	2	1

\*数字は必要な人数・○は足りていることを表す。

### ① 支援活動協力員登録人数（11月3日（木）現在）

- ・ 現地支援活動協力員：179名（参加者延べ人数：818名）
- ・ 事務所支援活動協力員：92名（参加者延べ人数：454名）

皆様お忙しい中のご参加で人員が不足しております。ご協力頂ける方は下記までご連絡下さい。

[災害対策本部（03-3351-5038 又は dsstsw@jaswhs.or.jp）](mailto:dsstsw@jaswhs.or.jp) 平日・土・祝 10～17時

※メールでご連絡の際は、件名に「(現地)または(事務所) 災害支援活動協力員希望」とご記載下さい。当会ホームページに[現地ボランティア応募フォーマット](#)が掲載されています。

### ② 現地支援活動について

宮城県大崎市古川のマンションが活動拠点となります。

平日1日3～4名体制 週末（金曜日～月曜日）1日4～5名体制を予定しています。

- ・ 引き継ぎ等の関係により、原則3日以上のご参加をお願いしていますが、相談会（2日間）のみの参加も可能です。
- ・ 毎週金曜日に災害対策本部副部長が現地入りし、統括をしていく予定です。

### ③ 事務所支援活動について

活動日程：月～土、祝日の10時～17時 ※半日での参加も可能です

活動内容：現地支援活動協力員の派遣調整、現地とのやりとり、電話・メール対応、事務処理  
1日2名を目標にご参加頂いております。

財政的に厳しい状況が続いているため、事務所協力員は交通費1200円上限とさせていただきます。

### ④ 寄付金の振込口座：郵便振込口座

皆様の協力をお願い申し上げます。

口座名義：日本MSW協会災害支援金

口座番号：00100-1-89515

支店名：〇一九（ゼロイチキユウ）店（019）

口座種別：当座

※他の金融機関からお振り込みいただく場合には下記のようにお願いします。

ゆうちょ銀行 口座種別：当座預金 支店：〇一九（読み方：ゼロいちきゅう）店

口座番号：89515

備考：お振り込みいただく金額に制限はございません。

ご自分のお名前とご連絡先をご記入ください。

お振込手数料は、各自でご負担ください。

**\*寄付の用途は、当協会の行う東日本大震災災害救援活動に使うことが決定しています。**

### ⑤ 活動内容の掲載について

石巻以外の地域で活動している方や被災者を受け入れている機関などの活動を本紙に掲載したいと思います。ご協力いただける方は[災害対策本部](#)までご連絡ください。

## 2. 災害対策会議の予定

次回の日程は検討中です。  
決まり次第お知らせします。

## 3. 石巻・現地情報



### ① 石巻での活動内容 ※状況によって内容変わります。

- ・ 仮設住宅の巡回及び入居者の相談支援
- ・ 遊楽館を退所した方のフォローアップ
- ・ 地域の保健医療福祉機関のニーズ把握と対応
- ・ 福祉関係職種との連携と協働（カンファレンス等）
- ・ 経過サマリー作成業務
- ・ 在宅医療を担う医療機関との連携
- ・ 茶話会（医療福祉・生活相談会）の開催及び準備

### ② 宿泊場所

大崎市古川の2LDK マンション。

\* JR 東北新幹線 陸羽東線 古川駅より徒歩約9分

### ③ 現地移動車両

ガリバーインターナショナル社様のご厚意により、当会へ自動車を1台貸与していただいています（保険や車検関係はガリバー社が負担してくださっています）。

現地ボランティアの皆様の足としてご利用いただけます。

車種：トヨタ「イスト」 ナンバー「野田 501 ち 3967」 銀色

### ④ 携帯電話

ソフトバンク様より、当会へ20台の災害用電話の無料貸し出しをしていただいています。

7月1日より、現地および、協会本部はソフトバンクの携帯電話を利用しています。

## 4. 仮設住宅における医療福祉相談会の報告

現地担当者 佐藤 杏

10月29日・30日に4回目の仮設住宅における医療福祉相談会を実施しました。

1日目は2名、2日目は1名の来談でした。相談内容は「生活に関すること」「健康に関すること」でした。

「市立病院看護師さんが来てくれていて…」など仮設住宅内で多職種が手厚く住民をケア・見守りをしていることが理解できました。医療福祉相談というどうしても医療職がいるように取られるようです。

「医療福祉」という言葉のとらえ方が、石巻では難しいのかもしれませんが、今後、皆さんと相談しながら、名称の変更も考えても良いと思います。

相談に来て下さった方々が、継続して生活するにあたり、多職種との連絡・情報共有方法を各地区ごとに整理していく必要があります。特に、牡鹿半島はキャンナスチームが積極的に関わってくださっているようなので、キャンナスとも協働できると心強いと思いました。



配布したチラシ&ポスター



個別相談の様子



仮設住宅プロット MAP 作成の様子



会場の様子

## 5. 現地支援活動報告

佐藤 拓海（高崎総合医療センター）

期間：10月12日～10月14日

### 1. 感想

今回初めて現地ボランティアに参加させて頂き、第1回医療福祉相談会が実施された直後に、現地に入りました。

仮設住宅への支援の状況として、入居者同士の交流や、様々な専門職の意見交換の場になることを目的に、仮設住宅の規模に応じた、「ささえあい拠点センター」、「ささえあいセンター」が設置されました。また、仮設住宅入居者へ保健師や、社会福祉協議会職員の訪問等、様々な団体の活動が始まっています。しかし、大規模な仮設住宅地区に、支援が集中してしまっている現状がありました。

週末開催予定の医療福祉相談会については、拠点センターを利用する運びとなり、現地の下見や、大橋地区仮設住宅全世帯へ作成した案内の配布を行いました。今後、仮設住宅での相談会が定期的で開催されるにあたり、ボランティアの安定的な確保の必要性を感じました。

3日間の活動を通して感じたことは、被災地の現状を理解できているつもりでしたが、現地に行くことで、初めて実感できること、改めて理解できたことが数多くありました。また、継続した支援の必要性を改めて強く感じました。今後も、日々発信される被災地の現状や、復興に向けての取り組み等の情報に目を向け、考えていきたいと思えます。

### 2. 課題

仮設住宅への訪問（保健師や、各団体等）が始まり、様々な情報（ニーズや、苦情等）の把握が進んでいる段階でありましたが、その情報を集約し、各専門職、各団体等での確に情報共有できていない現状がありました。今後は、現地で活動しているそれぞれの立場の方が、把握した情報を集約し、定期的に情報共有できる会議等の開催を、検討する必要があるように感じました。

### 3. 今後参加される方への情報・アドバイス

●現地への移動（実際にとった手段、ルート、出発・到着時刻等）

関越自動車道 前橋IC～三陸自動車道 矢本IC

●現地での移動（実際にとった手段）

協会の乗用車での移動

（石巻事務所→石巻市役所→開成地区仮設住宅→大橋地区仮設住宅）

●事前に得ておくとい知識

石巻周辺の地域の情報（地名等）、石巻市内の仮設住宅の場所、位置関係の把握。

●現地へ持参する必需品・不要だった物

必需品：筆記用具、地図。 不要だった物：上履き

### 4. 参加を検討されている方へのメッセージ

支援継続の必要性を強く感じました。一人でも多くの方に参加していただきたいと思えます。

### 5. 日本医療社会福祉協会や災害対策本部への要望

仮設住宅での相談会が定期的で開催されるにあたり、ボランティアの安定的な確保の必要性があるように感じました。平日の活動、週末相談会の活動等、人数や、内容を明確にし、協会員へ発信することを検討していただきたいです。

## 6. 現地・事務所ボランティア感想文

現地・事務所ボランティアの思いや業務のことなど・・・一読ください。

### 現地ボランティア

10月24日(月)

佐藤(自宅)

今日は、石巻市内のSWと初めてお話をしました。協会としては、6月以来の訪問です。お話をしていく中で、石巻のSWも、ご自身が大変な中でも、患者さん・住民のためにSWとしてできることをしたいということを仰られていて、同じSWとして、心から尊敬しました。そして、同じことを目標・目的としていることがとても嬉しかったし、このSWさんたちへの後方支援も私たちに必要な活動だと改めて感じました。

交流会の話もあがり、地元のSWと一緒に石巻の支援に取り組んでいきたいと思いました。

10月25日(火)

一原(自宅)

こちらは早くも朝晩の冷えが身にしみるようになってきました。あまりに寒くて、越冬のため毛布を3枚購入しました。とてもあたたかいので、皆さん安心してお越しください！

10月26日(水)

一原(自宅)

仮設住宅群400戸にチラシを配布しました。

住宅によってはポストがチラシでぎっしりになっていたり、「チラシや宗教の勧誘お断り」と書いたテープで塞がれていたり、ポスト自体が撤去されていたことから、仮設住宅対象の訪問やポスティングが多く迷惑している住民も多いのではないかと考えられました。そのような視点で考えると、チラシの文面は、当協会が「あやしい団体」と誤解されないような工夫や、もっと参加意欲を掻き立てられるような工夫が必要そうです。またポスティング以外の案内方法を考えてもよいと感じました。仮設住宅内で回覧板などがうまく機能するとよいのかもしれない。

10月27日(木)

一原(自宅)

マンションのすきま風が気になり、目張りしてしまいました。外では椿や山茶花を見かけ、冬の到来を実感しました。

10月28日(金)

一原(自宅)

明日・明後日の相談会の準備は一通り終わったので、今日は来月以降の活動を具体的に決めていくため、今まで行ったことのなかった牡鹿半島を回ったり、市役所の方と協議したり、活動拠点にできそうな物件を探しまわったり(今の古川が遠いので)大変充実していました。

高橋(亀田総合病院)

初めて現地ボランティアに参加しました。同僚が以前に参加し、様子は聞いていましたが、実際に見る・聞くのとは、感じることも考えることも違い、現地に来なければわからないことばかりでした。

保険にはじまり、今後、仕事や家など、復興に向けてSWが関わる意味は大きくなっていくと思いました。

10月29日(土)

佐藤(自宅)

朝晩は、早くも冬を感じさせますが、日差しがある時間帯は、とても心地よい秋の陽気です。

相談会来談者は2名でしたが、待機時間に地図上に仮設住宅のプロットをしたり、その他意見交換もでき、充実した一日だったと思います。

梅崎(埼玉県立大学)

これから冬に向かうので、拠点は石巻市内に確保したいですね。スノータイヤなど冬期間の準備を是非！

10月30日(日)

佐藤(自宅)

相談会活動そのものもちろんですが、その後どこに適切につながられるかということも必要だと思います。そのためのネットワークを徐々に広げ、深めていくことが、11月の課題になると思いました。

加藤(三楽病院)

遊楽館が閉鎖されて、10月から活動内容が変わってきてソーシャルワーカー協会としてどういう役割になっているのか少し不安でしたが、現地担当者の佐藤さんが石巻市や市内の関係機関と連携も図って調整されていて、「さすがだ!」と思いました。今後戸数の少ない仮設住宅へのアクション、また相談拠点を固定できると良いと思いました。

## 事務所ボランティア

10月24日(月)

取出(初台リハビリテーション病院)

本日はパソコンのLANをつなぎそこねたため、1時間近くパソコンの調子が悪く事務所の方にもご迷惑を掛けてしまいました。今後気をつけます。

いつの間にか11月のボランティアが入り始めています。毎日届く現地の佐藤SWの日報に素晴らしさを感じています。今日はぎりぎりになったため日誌も書かずに飛び出してしまいました。明日の大野SWにはメールで申し送ります。

10月25日(火)

取出(初台リハビリテーション病院)

本日は災害対策本部会議でした・・・が、草水SWと佐藤SWの3名!?でも現地の状況に合わせた会議の持ち方など、普段できない濃いディスカッションができました。満足して帰ります。

また、大野SWは18:30までいらして、私のミスも全てフォローして笑顔で帰られました。11月もぜひいらして欲しいです!!

10月26日(水)

東(初台リハビリテーション病院)

初めてホームページのニュースレターを更新しました。マニュアルが整っていたため、機械に弱い私でもなんとか処理ができました。マニュアルに感謝です!!

10月27日(木)

田玉(初台リハビリテーション病院)

現地ボランティアさんへの最終確認がぎりぎりになってしまい、すいませんでした。29日・30日で相談会をされるとのことで、仮設住宅にお住まいの方々の支えになればと願っております。